

文部科学省
選定作品

白い手袋と歌声が、世界をやさしくつなぐ。

声で奏で 手話で歌う

障がいのある子も そうでない子も

誰ひとり取り残さないインクルーシブな合唱団

200年の時を超えてウィーンで叶う、誰もが見える「第九」 誰もが歌える「第九」

White Hands Chorus NIPPON

ブリューダー【兄弟】

Brüder

よろこびのウィーン

【出演】ホワイトハンドコーラスNIPPON、コロネりか、田頭真理子 【監督】池田圭佑

【製作】一般財団法人さわかみ財団、一般社団法人El Sistema Connect 【後援】駐日ベネズエラ大使館、オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム東京

ベートヴェンが私たちがBrüder[兄弟]にする。

2021年のクリスマス。

コロナ禍の中、東京芸術劇場でバッハ・コレギウム・ジャパンと共演したホワイトハンドコーラスNIPPON。

それから3年——。

目の見えない子、耳の聞こえない子、車いすの子、自閉症の子、そして障がいのない子どもたち。



誰も取り残さないインクルーシブな合唱団は、その活動が認められ、バリアフリーの国際アワードを受賞しました。

その栄誉を胸に挑んだのは、音楽の都ウィーンでのベートーヴェン「第九」公演。

手話で歌う《サイン隊》はドイツ語手話に挑戦し、音符が読めなくても心で歌う《声隊》はフォーガに挑みました。

さらに写真家・田頭真理子氏が子どもたちの手歌を“光”で写し取り、ウィーンで写真展を開催。

声で奏で、手歌で歌い、すべての子どもたちが紡ぐ“誰もが歌える”、

“誰もが見える”「第九」が生まれました。

東京・京都・沖縄など全国から集まった約100名の子どもたち。

芸術監督コロネりか氏とともに創りあげた舞台。

——世界を越えて、

「障がいという壁なんてない！」

その挑戦の軌跡を追った、感動のドキュメンタリーです。



制作：2025年／言語：日本語／上映時間：99分／サウンド：5.1ch
【製作】一般財団法人さわかみ財団、一般社団法人El Sistema Connect
【出演】ホワイトハンドコーラスNIPPON（声隊・サイン隊）、コロネりか（芸術監督）、田頭真理子（写真家）
【エグゼクティブプロデューサー】澤上篤人【監督】池田圭佑
【SNS】X @sawakamizaidan @sawakamizaidan.101
【WEB】<https://sawakami.org/category/white-hands-chorus-2>
©2025 一般財団法人さわかみ財団



さわかみアーカイブス・プロジェクト作品
ホワイトハンドコーラスNIPPON
Freude! よろこびのうた
ただいまDVD好評発売中！
詳しくはQRコードへ



2025年12月12日(金)アップリンク吉祥寺にてロードショー

※上映日時の詳細は、公式サイトをご覧ください。